

安保・戦争国会粉碎へ!

2015年8月20日
No.314

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

沖縄大ー京都大から

全学連大会へ結集を訴える!

◆赤嶺知晃(沖縄大学学生自治会委員長)

沖大当局は、8月5日の法経学部教授会で、沖大学生自治会委員長である僕と副委員長の盛島君に対して、「訓告処分」を決定しました。処分の理由は次の通りです。今年の5月18日に沖大学生自治会が「戦争絶対反対」「辺野古新基地建設阻止」でキャンパス集会を行ったことを「拡声器を使い集会を扇動するなど、静かな環境を破壊した」「再三にわたる解散の指示に従わず集会を続け、学内の秩序を乱した」「これらの行為は…本学学生の本分に反する行為であり、学生として有り得べからざる行為である」としています。

本当に許しがたい処分理由です。5月17日の県民大会3万5千人の熱気を引き継ぎ、沖大生と全国学生の団結で打ち抜かれた5・18キャンパス集会に悪罵を投げつけ、安倍政権と一体で学生のキャンパスからの決起を潰す意志をむき出しにしたものです。

そもそも沖大当局の言う「静かな環境を破壊した」という言葉自体が許しがたい! 沖大生が「戦争が始まるんじゃないか、徴兵制が始まるんじゃないか」という不安で夜も眠れない、授業にも受けていられない」という切実な声をあげる中で学生がキャンパスで声をあげることを許さず、一枚のビラもまけない、集会もできない「静かな環境」を守れと言っているのです。

そして、「解散の指示に従わず集会を続け、学内の秩序を乱した」とあるが、この時代情勢の中で学生の反戦集会に解散指示を出す大学のあり方とは何なのか! 反戦集会を解散させることで維持される学内の「秩序」こそ戦争の現実です。そして最後の「本学学生の本分に反する行為であり、学生として有り



得べからざる行為である」という言葉に沖大当局の本性が現れている。仲地博学長をはじめ安倍政権を批判するポーズをとりながら、「静かな環境」「学内の秩序」の中で学生が反戦・反基地で決起することを「学生として有り得べからざる行為」としているのです。

8月16日の『琉球新報』の記事に登場した仲地沖大学長は、新基地建設阻止の運動の課題を「第二の復帰運動にできるかということだろうか」と述べています。沖縄の復帰闘争とは基地労働者と沖大生の職場・キャンパスからのストライキ決起によってつくり出されたものです。キャンパスからの学生決起を先頭で弾圧している人間が、新聞上で「第二の復帰運動を」などと述べています。

今回の処分通知は、8月6日につくられたものです。被爆から70年目の8月6日に、被爆者の怒りと連帯して8・6ヒロシマ大行動を闘った沖大学生自治会と二人への処分通知に認印を押していた仲地学長のどちらに戦争を止める力があるのかははっきりしています。

今、文科省で経済的徴兵制が議論され、防衛省は3億円の予算をつくり全国大学に公然と軍事研究を募集しています。私達が普段通っている大学から戦争が始まろうとしています。しかし、だからこそ学生がキャンパスから闘いに立ち上がることに戦争を止める力があります。

沖大当局は、処分攻防と一体で二人の親を呼び出し学生自治会運動をやめさせるよう説得するなど、すさまじい潰し攻撃を仕掛けています。これに対して、沖大学生自治会は、この許しがたい処分をもテコにして団結を拡大して処分を絶対に粉碎します! そして、全国の闘う学生自治会の仲間が集ま

全学連第76回定期全国大会

◆安倍政権たおそう! ストライキで戦争とめよう!

◆全国大学に学生自治会をつくろう!

9月2日(水)~3日(木) 東京・浜町区民館にて

両日とも午前9時半開始 ※3日の議事終了後、16時から国会デモ

参加費用=1000円(会場代、資料代など) ※宿泊費は除く



る全学連大会に沖大からも大挙駆けつけたいと思います！

全国大学で戦争反対のストライキを巻き起こし、安倍政権を打倒するために9月全学連大会に全国から大結集しよう！

◆作部羊平(全学連副委員長、

京都大学全学自治会同学会中央執行委員長)

すべての学生は、9月全学連大会に結集し、どうやって今の大学を変革し、安倍政権を倒すのか、真剣に討論しよう！

現在、京都大学吉田寮をめぐって一大攻防になっています。吉田寮は築100年を越える寮であり、寮生が自治会をつくってすべての運営を担っています。この寮の老朽化に対し、「2015年7月28日、京都大学当局(理事・副学長会議)より吉田寮自治会に対し、文書『吉田寮の入寮者募集について』が一方向的に通知されました。これは、吉田寮の現居住者は現棟から退去すべきとして2015年秋季以降の入寮募集停止を要請するものでした。また翌日29日には、吉田寮自治会との何らの話し合いも合意形成もないままに、同通知内容が京都大学公式HP上に掲載されました(吉田寮HPより引用)」。つまり京大当局は入寮募集停止を既成事実化して、寮自治会を解体する本格的な攻撃に乗り出したのです。

吉田寮自治会は歴史的に、京都大学での学生の権利と自治を守り抜く闘争の先頭に立ってきました。昨年11月4日の京大公安摘発事件に対しても、「吉田寮自治会は、私服警察官による京都大学構内への無断立ち入りについて、大学の自治を

脅かす極めて不当な行為であるとかんがえる(同HP)」と弾劾声明を出し、その後の熊野寮への家宅捜索にも抗議しています。今回の攻撃は、国家権力とすら対峙し、大学のあるべき姿を体現して闘ってきた京大生の誇りと団結を奪う攻撃です。

そしてまた、6月から進められている総合人間学部管轄の6サークルに対するBOX追い出し攻撃、同学会執行委員会に対する4度にわたる「非公認化」攻撃と一体で、京大から抵抗勢力を一掃し、政治に関わらせないという攻撃です。学生が誇りも団結も奪われ、学費・就活・奨学金の重圧の中で何も言えなくなる。これこそが安倍政権の進める戦時下体制の正体です。絶対に許してはならない！

そしてこれらを実際に進めているのが自称「リベラル」の山極寿一総長以下、理事会のメンバーです。理事会は「吉田寮自治会は…(中略)…現在の寮の様態を維持しながら耐震強度を上げる補修方法を提案し」「杉万副学長も賛意を示している」にも関わらず、「2015年度4月以降現棟補修に関する団体交渉に一度も応じていません(同HP)」。団交を拒否し、合意を無視した上で7月末の学生が減っていく頃合を狙って今回の通知を行ったのです。ふざけるんじゃない！安倍と一体で戦時下体制の構築に突き進む理事会＝山極総長体制をぶっ倒そう！

しかしこれらの攻撃は、戦争法案を強行する一方で、労働現場・大学キャンパスにおいて絶対反対派が強力に生き残っていることへの焦りと恐怖からくる破綻的なものでしかありません。既成事実として通知したはずの入寮募集停止は、学生の徹底追及の中で「あくまで理事・副学長会議としての提案にすぎず、決定ではない(京都大学HPから引用)」と逃げ出し、吉田寮自治会は断固入寮募集を続けています。サークルBOX追い出しや同学会「非公認」問題についても、7月23日の副学長情報公開連絡会において徹底弾劾を受け、杉万副学長は「次回説明する」とほうほうのていで逃げ出しました。すべての攻撃を学生の団結した行動に変え、大学支配をひっくり返す大チャンスが来ています。

同学会中執は、断固吉田寮自治会と連帯して闘いぬきます。まずは9月17日の副学長情報公開連絡会が最大の焦点です。

すべての怒りを束ねて、9月全学連大会への大結集から安倍打倒ー戦争協力阻止のストライキを実現しよう！



【当面する行動方針】

●被曝労働と帰還強制許すな！ 8・29いわき行動

8月29日(土) 13時～ いわき市・平中央公園にて ※集会後にデモ→いわき運輸区前で抗議行動
主催/動労水戸、いわき合同ユニオン、NAZENいわき、動労水戸支援共闘

●戦争法案廃案！ 安倍政権退陣！ 8・30国会10万人大行動

8月30日(日) 14時～ 国会議事堂周辺にて
主催/戦争させない・9条壊すな！ 総がかり行動実行委員会

●星野文昭さんを取り戻そう！ 9・6徳島刑務所デモ

9月6日(日) 13時～ 鮎喰川春日橋たもと河川敷にて集会→14時にデモ出発

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判控訴審・第1回

9月10日(木) 13時半～ 東京高裁にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

